

青少年育成センターだより

第29号 平成29年11月



心に響く言葉を紹介しましょう。

「天にありては星、地にありては花、人にありては愛、この世に美しきものの最たるや」
(高山樗牛)

人の世の中で一番美しいものは「愛」。この地球が「愛」でいっぱいになるとよいですね。
「ありがとう」って言うてみませんか

パパへ

ぼくは、いつもいつもはたらいているパパにかんしゃしています。

月よう日から土よう日までは、きくちのびよういんにいって、水よう日のおひるからは、につせきびよういんへいって、たいへんだとおもいます。

たくさんはたらいて、いつもありがとうとこころの中でおもっています。くまもとじしんのとき、ぼくたちをひなんさせたあと、パパは、かんじゃさんのためにびよういんにいったね。さみしかったけどおいしゃさんてたいへんだからしかたないとおもったよ。いっしょうけんめいにはたらくパパはかっこいいです。

休みの日は、つかれているのに、いろんなところにつれていってくれてありがとう。これからも、ぼくたち家ぞくのためとかんじゃさんのためにがんばってください。いつもはいわないけどかんしゃしています。ほんとうにありがとう、大好きだよ。

(「ありがとうの手紙コンテスト」から)



作者の素直で温かい気持ちが伝わってきますね。

みなさんのご家庭では「ありがとう」という言葉をどれくらい使われているのでしょうか？我が家では、「おはよう」や「おやすみ」「行ってきます」「ただいま」等のあいさつは毎日交わしています。「いただきます」「ごちそうさま」も毎日言っています。しかし、「ありがとう」はそんなに言っていないことに気づきました。「ありがとう」も1日に一回は使いたい言葉だなと反省しています。

食事を作ってくれて「ありがとう」、洗濯をしてくれて「ありがとう」、弁当を作ってくれて「ありがとう」、朝起こしてくれて「ありがとう」等、「ありがとう」を言う機会はたくさんあります。家族の中で、「ありがとう」という言葉がたくさん交わされるようになると家族はますます仲良くなり、温かい家庭になるのだらうと思います。家庭の中だけでなく、学校でも、地域でも「ありがとう」って言うてみたいものです。

言葉に出して言うことは恥ずかしいなと思う人は、心の中で「ありがとう」と言うてみることから始めてはいかがでしょうか。そして慣れてきたら口で言うのです。「ありがとう」と言葉にすることで人間関係がよくなり、相手も自分も幸せな気持ちになることでしょう。

「ありがとう」は魔法の言葉です。家族にでも、お店の人に対してでも感謝の気持ちを込めて「ありがとう」を言いたいものです。

ここで、究極の「ありがとう」を紹介しましょう。子どもに「生まれてきてくれてありがとう」と言うてみませんか。その言葉を聞いた子どもはきっと、「お母さんの子どもでよかった」「生んでくれてありがとう」と思うに違いありません。この言葉で、ますます親子の絆が深まること請け合いです。

今日、子どもが帰ってきたら「生まれてきてくれてありがとう」と言うてみませんか。

問合せ先：防府市教育委員会生涯学習課 青少年育成センター（23-3013）